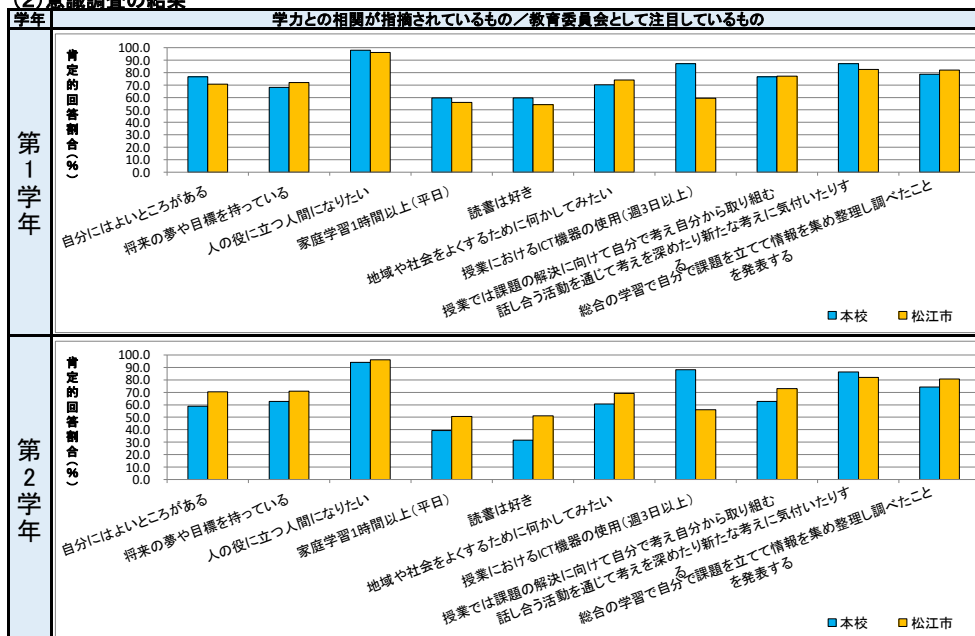


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(●)
第1学年	国語	成果 ○話し合いでの伝え方や表現などは、日々の授業での活動から、正しく理解している生徒が若干いる。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識に関しては、繰り返し学習して積み重ねていく。 「読むこと」に関しては視写を行ったり、教科書の文を問いに答える前に構成や内容を細かく整理させる活動をしたりしている。 他教科においても、読む・書く活動を丁寧に行い、特に書く活動に重点をおいて指導する。
		課題 ●国語の基礎知識となる文法や歴史的仮名遣いなどが全く定着していない。 ●文章を読んで自分なりに理解することができていない。読んだ「だけ」で、内容などが理解できていない。	
	数学	成果 ○単純な四則計算は授業でプリントを繰り返し練習しているので、十分とは言えないが松江市と比較しても差は小さい。	<ul style="list-style-type: none"> 正答率の低い単元は、1年生の間にプリントで復習させる。 小学校の学習からつまづいている生徒も多いため、小学校の内容のプリントを宿題として行い、自分がどこでつまづいているのかを確認させる。 一斉での授業からグループで考え、表現する活動を多く取り入れて行く。
		課題 ●単元では比例式、方程式の解き方、垂直二等分線の問題が松江市の正答率と比較してかなり低い。 ●思考力を問う問題や式に表す問題の正答率が低い。	
	英語	成果 ○松江市に比べて、語彙の知識・理解の正答率が高い。 ○松江市に比べて、単語の並べ替えの正答率が高い。	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞くとき、集中して聞ける雰囲気を作り、ポイントを絞って聞き取れる手立てを講じる。 ペア活動やグループ活動を取り入れる中で、協力して読み取る活動をしたり、英作文を解くなどして、全員が参加できる授業を行う。 全員が取り組める課題を準備し、定期的に小テストをし、さらなる基礎力の定着に努める。
		課題 ●松江市に比べて、さまざまな文の読み取り、リスニングの正答率が低い。 ●レベル1, 2の生徒の割合が8割を超えている。	
第2学年	国語	成果 知識・技能については松江市平均を上回った。	「自分の考えを明確にして」「集めた材料を整理し」といった言語活動を取り入れることで思考判断表現の力を伸ばしていく。情報収集の時間、共有の時間を分けることで考えを深めさせる。
		課題 ●異なる立場や考えを想定しながら情報を集める力に課題がある。	
	数学	成果 ○全般的に松江市の平均を上回った。	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間的小テストの成果ができています。 図形分野でも毎時間の授業の中で基礎基本の徹底を行っています。
		課題 ●図形分野が松江市の平均をやや下回っている。	
	英語	成果 ○松江市の平均に比べて、読み取りの正答率が高い。 ○松江市の平均に比べて、場面に応じて書く英作文や3文以上の英作文の正答率が高い。	<ul style="list-style-type: none"> ペア活動やグループ活動を多く取り入れ、全員が参加できる授業を行う。 単語や基本的な表現を中心に、全員が取り組める課題を準備する。 単語や基本的な表現の習得を目指して、毎回課題を出しチェックする。
		課題 ●松江市の平均に比べて、語形・語法の知識・理解、語彙の知識・理解が不十分な生徒が多い。 ●度数分布において、二極化が顕著である。	

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞
 成果○: 強み/伸ばしたい点 について
 課題●: 弱み/改善を要する点 について

【第1学年】
 ○平日の平均家庭学習時間は松江市の平均より上。
 ○ICT機器の利用は松江市の平均を大きく上回る。
 ●家庭学習時間は平均より高いが平均点は大きく下回っている。
 ●小学生レベルの基礎知識に大きな課題。家庭学習の質が低い可能性。
 ●教科の平均点が大きく下回っている。
 ●ICT機器の使い方の見直し。ただ楽しむだけになっていないか。

【第2学年】
 ○ICT機器の利用は松江市の平均を大きく上回る。
 ○話し合い活動も盛んに行っている様子。
 ●家庭学習時間の少なさ。
 ●全体的な向上心や学習意欲の低さ。
 ●自己の目標を意識できるよう、進路学習にもっと力を入れる。

【R7学力調査受検者数】

第1学年	48	名
第2学年	52	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示